

2017 年版

画像不正 と疑われないための 画像処理

得られた原画像を客観的・定量的に評価するためには、画像処理を活用することは必須です。しかし適切な画像処理を行わないと、正確な研究結果が得られないばかりか、画像不正と疑われてしまう可能性もあります。本セミナーでは、自身が研究者であり画像処理のエキスパートの講師を迎えて、研究画像を処理するうえで知っておきたい知識と手法を、Adobe Photoshop CCを使ったデモを交えながらお伝えします。2015年から全国の大学で行っているセミナーを2017年版として、新たな情報も加えて開催いたします。ぜひご参加ください。

開催日時 9月13日(水) 15:00～16:00

開催場所 吹田キャンパス 最先端医療イノベーションセンター棟1F マルチメディアホール

セミナー内容 (60分)

■ 画像の基礎と基本操作

背景とデジタル画像の基礎
不正と疑われるケース
学術雑誌の投稿規定

■ ソフトウェアの活用法

デモ操作 | 画像不正と疑われない画像処理

- ヒストリーログ: 画像処理の履歴を全て自動保存
- コントラスト調整: 投稿論文にふさわしい調整方法

New

定量解析

ノイズ除去・輝度補正・二値化・面積計測

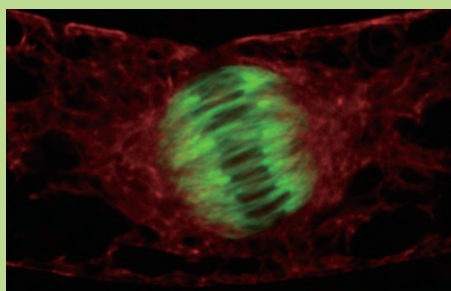
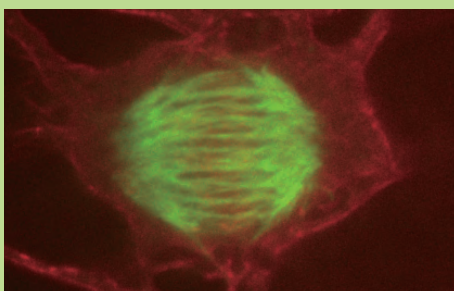
*参加費無料・下記からお申込みください。申込なしでの当日参加も可能ですが、事前登録にご協力お願いいたします。

<http://bit.ly/osakauniv-suita-G2P1>



論文での画像比較例

下記は画像不正の疑いがあります。誤った画像処理を行ったために問題のある掲載になっています。セミナーではどうすれば正しい処理が行えたのか詳しくご紹介します。



Kojo et al. PSB (2014)

主催: 大阪大学 医学系研究科附属共同研究実習センター お問い合わせ: 寺尾 (内線3790)

協賛: アドビ システムズ 株式会社

第83回
共同研

テクニカルセミナー

セミナー講師

湖城 恵 氏

東京大学大学院新領域創成科学研究科 博士課程修了。博士(生命科学)。

学部から一貫してライブイメージング研究に従事。博士課程からは画像処理技術の開発にも着手。

主な研究対象である植物培養細胞に加え、共同研究では陸上植物やショウジョウバエ等の画像処理を担当。

研究の質と顕微鏡画像の美しさが評価され、複数の発表論文が国際誌の表紙を飾る。学位取得と同時にエルピクセル株式会社を共同で設立。画像不正問題を受け、画像不正の検出をサポートする「LP-exam」の開発に従事。LP-examはエルピクセル社Webページにて無料で公開中。

現在、日本学術振興会特別研究員(PD)として画像処理技術の開発に従事。



アドビ システムズ 株式会社
名久井 舞子